

看護職員リクルートガイド

心の通う利用者中心の看護



安心の地域医療を支える

JCHO久留米総合病院

Japan Community Health care Organization

病院理念

地域住民の

多様なニーズに応え、

安全・安心で、心の通う医療を提供する



病院の特徴

当院は、福岡県久留米市の中心部にあります。保健(健康管理センター)、医療(病院)、介護福祉(介護老人保健施設)が三位一体となった複合医療施設です。健康診断から病気の治療、そして介護まで切れ目のない包括的な医療サービスを提供しています。

全国に先駆け、女性外来・女性専用病棟を開設し、乳がん治療や婦人科疾患治療で実績を積み、特に女性疾患治療の充実に尽力してまいりました。常に、地域のニーズに対応した医療を展開しています。

平成27年に新棟が完成し新たな気持ちで日々看護しています。



病院の概要

入院ベッド数 : 154床 (許可病床数175床)

職員数 : 約350名

看護師数 : 約150名

入院基本料 : 一般7:1

地域包括ケア病床8床

平均在院日数:12日

平均利用率 :81.4%

看護部の理念

心の通う利用者中心の看護



～看護部長からのメッセージ～

看護職員が、やりがいを持って生き生きと働き続けられる職場環境作りに努めています。皆さんも私たちと一緒に働いて、キャリアを積んでいきませんか

看護部の基本方針

- 利用者、ご家族の人権を尊重し、コミュニケーションを大切にします。
- 地域の皆様に信頼される安全な看護の実践に努めます。
- 笑顔とまごころで心の通う利用者中心の看護を目指します。



一人ひとりの学ぶ姿勢を大切にし、院外の各種研修会や認定看護師の長期研修にも積極的に参加できる支援体制があります。新人看護職員卒後臨床研修では、院内全体で育てていけるように他職種も参加した研修計画を立てています。

看護方式 : 固定チームナーシング

継続受け持ち制

勤務体制 : 3交替 2交替 3人夜勤

教育体制(卒後教育/継続教育)

手厚い指導体制の卒後臨床研修新人教育

● 安心の教育体制

新人看護職師がしっかりと基礎を身につけ、安心して実践の場に臨むことができるようにフォローします。安心して安全な看護を提供するために、集合教育、部署内教育、ローテーション研修を取り入れた卒後臨床研修を行い、部署での実践に繋げていきます。

● ローテーション研修

配属された部署ではあまり経験できない看護を学びます。

● リフレッシュ研修

病院の外に出て、協働作業・ゲームなどを通して親睦を深めます。



● 里帰り研修

母校を訪問し、先生方や後輩へ近況報告などをします。みんな気持ちを新たにして、病院に戻って来てくれます。

教育体制(卒後教育/継続教育)

久留米総合病院が目指す看護師像

- ・地域の人々のニーズに応え、根拠に基づいた安全な看護実践ができる看護師
- ・自己の責任と能力を認識し専門職として知識・技術の向上に努めることができる看護師・豊かな感性と倫理観をもち、人権尊重の心を大切にする看護師

JCHO久留米総合病院の教育目的・目標

教育目的

豊かな感性をもち専門職として自律した看護師を育成する

教育目標

- 1) 看護の専門性を確立し、質の高い安全な看護実践ができる能力を身につける
- 2) 専門職としての自律した自己啓発力を養う
- 3) 利用者を中心に考えた対応を身につける



新人看護師の1年

4月 入職時オリエンテーション

5月 基礎看護技術の練習
4月中旬、配属部署へ

6月 リフレッシュ研修
野外炊飯活動

7月 3ヶ月の振り返り
配属部署にも慣れてきました

8月 BLS研修
救急救命士からの指導

9月 医師からの研修も
受けることができます

10月 災害看護も
学びます

11月 退院調整について

12月 高齢者・認知症看護・退院調整・逝去時・看護倫理
様々な研修に取り組みます

1月 看護観の発表
病院長より修了書授与

2月

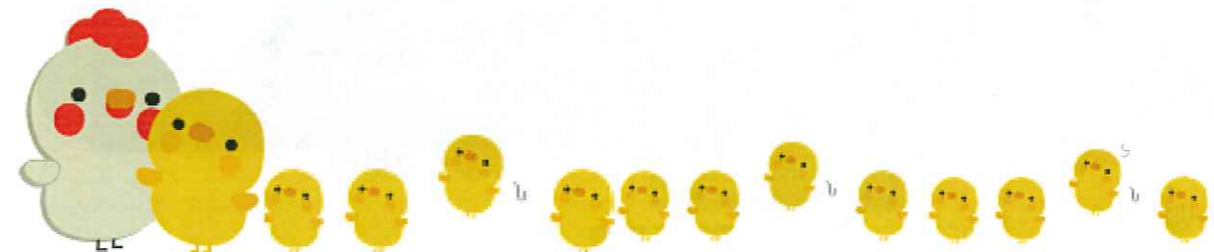
3月

次のステージへ

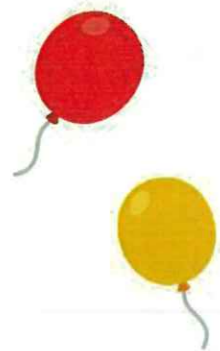
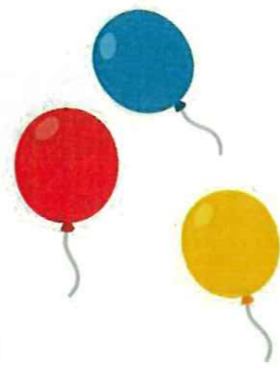
新人看護職員研修 プログラム



月	集合研修内容
4月	看護基礎技術研修 (バイタルサイン・吸引・浣腸・導尿・採血・静脈注射・輸液管理・移送) 感染管理、医療安全研修 薬剤管理 接遇マナー研修 看護記録 (情報管理・電子カルテ運用方法・看護診断等)
5月	看護基礎技術研修(酸素療法・医療ガス・輸血療法) 看護必要度 放射線暴露防止策研修
6月	リフレッシュ研修 夜勤看護についての
7月	褥瘡予防研修 食事療法 救急蘇生法
8月	多重課題
9月	災害看護
10月	逝去時の看護 看護倫理について
11月	呼吸・循環動態の観察方法
12月	退院調整について
1月	看護基礎技術研修(CVC挿入・CART)
2月	認知症看護 老人の理解
3月	看護観発表

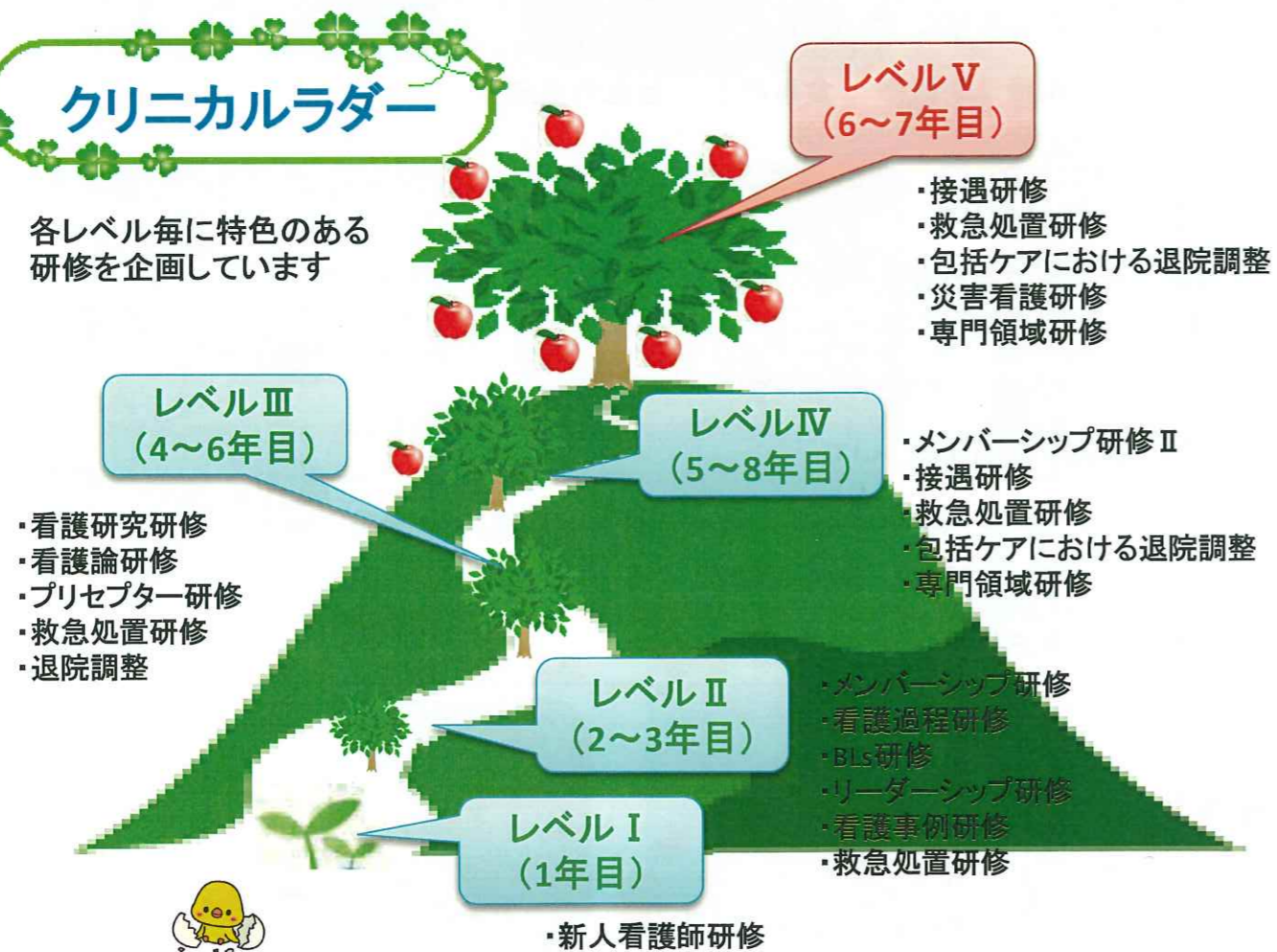


継続教育



クリニカルラダー

各レベル毎に特色のある研修を企画しています



特色ある研修



リソースナースによる研修

研修内容

皮膚排泄ケア看護	創傷の病態と治療その看護、ストーマケア
看護管理	組織マネジメントについて、人材育成方法について
認知症看護	認知症とそのケア、認知症高齢者のターミナルケア
乳がん看護	乳がんの治療と看護、リンパ浮腫のケア
がん性疼痛看護	がん性疼痛看護の概要、疼痛時の看護
がん化学療法看護	化学療法剤の安全な取り扱い、副作用と症状マネジメント
緩和ケア	緩和ケアの基本、エンゼルケアについて



キャリアアップへの支援

- e-ラーニングによる研修
- 院外研修
 - 看護協会
 - JCHO九州地区研修
 - JCHO本部研修
 - 学会発表・参加
- 中途採用者研修
- 資格取得支援
 - 認定看護師教育
 - 専門看護師教育
 - 特定行為研修

先輩看護師からの メッセージ



5階 内科病棟で
勤務しています

病棟では多くの看護技術を学ぶ事ができます。わからない事は実地指導者、先輩達からアドバイスをもらいながら日々業務を行っています。医師、薬剤師、理学療法士などの多職種とコミュニケーションを図りながら、患者様のQOL向上のために日々取り組んでいます。同期の仲間とも、切磋琢磨しながら看護の力を身につけることに励んでいます。患者様のいきいきした姿を見ることはとてもやりがいがあります。



実地指導者を担当し、自分が1年目だった時のことを思い出しています。1年目の時、仕事ができない自分が情けなくて落ち込むことが多くありました。その時支えになってくれたのは実地指導者の方でした。私もそんな実地指導者を目指しています。当院は新人看護師研修も充実しています。また、病棟は明るく楽しい職場です。皆さんも一緒に働いて見ませんか？

福利厚生

看護宿舎

病院から徒歩5分
1K(ワンルームタイプ) バス・トイレ付



院内保育所

附属老人保健施設内にあり、安心して
仕事ができます。
働くパパ・ママナースを支援しています。



みんなに助けられて
います。入職後に結
婚・出産して復帰し
ました。現在2人目
妊娠中です

JCHOの他病院に入
職し、結婚・出産し
て、久留米総合病
院に転勤、復帰し
ました。

支援制度

● 休暇・休業

年次休暇、夏季休暇、産前産後休暇、介護休暇・休業、
育児休業 など
育児短時間勤務もあります。

ワーク・ライフ・バランス支援をしており、働き続けられる
職場環境に努めています。

病院アクセス



独立行政法人 地域医療機能推進機構
久留米総合病院

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町21番地
TEL 0942-33-1211 FAX 06942-32-0113
URL <http://@kurume.jcho.go.jp>

担当 総務企画課



患者さんのために 地域のために 私たちは最善を尽くします

ACCESS

交通のご案内



久留米市役所



JR久留米駅



西鉄久留米駅

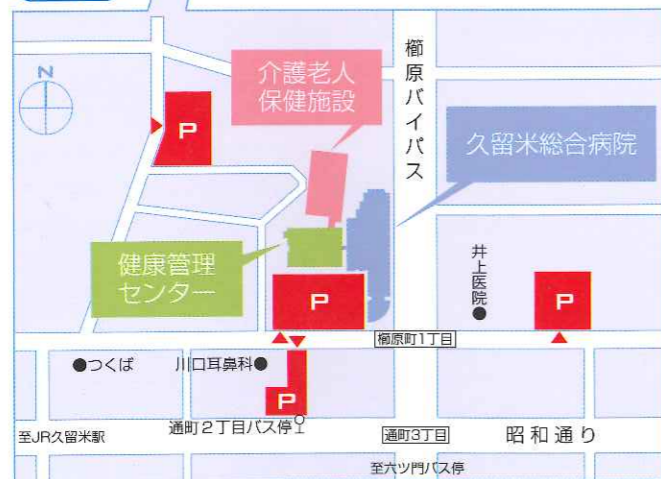


岩田屋久留米店



- JR久留米駅より徒歩約15分・車約5分
- 六ツ門バス停より徒歩約7分
- 西鉄久留米駅より徒歩約15分・車約5分

拡大図



久留米医師会



久留米市美術館(旧石橋美術館)



久留米大学病院



ゆめタウン久留米店



独立行政法人 久留米総合病院
地域医療機能推進機構

[併設] 久留米総合病院 健康管理センター
[併設] 久留米総合病院附属 介護老人保健施設

所在地 : 〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町21番地
TEL:0942-33-1211 FAX:0942-32-0113
HP <http://kurume.jcho.go.jp/>

JCHO 久留米総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構

[併設] 久留米総合病院 健康管理センター
[併設] 久留米総合病院附属 介護老人保健施設

Kurume General Hospital





K u r u m e G e n e r a l H o s p i t a l

正面玄関を入ると出迎えてくれるのが、染物家 佐伯和子さんの作品「紅のオマージュ」。久留米絨を使用した色鮮やかな作品です。他の作品も館内を印象的に彩っています。

目次

病院紹介	P2~4
院内フロア案内	P5
外来案内	P6
入院について	P7
地域医療連携について	P8
患者さんへのサービスについて	P9
診療科目案内	P10
女性専門医療について	P11、12
コメディカル部門について	P13~15
健康管理センターのご案内	P16~19
介護老人保健施設のご案内	P20~22

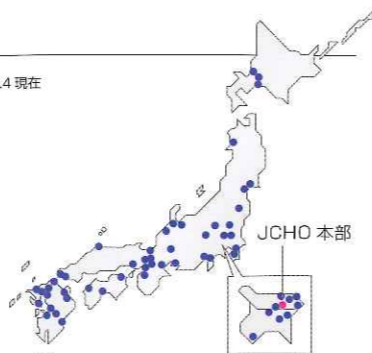
JCHOとは



JCHOとは、Japan Community Health care Organization の略称で、厚生労働省所管の独立行政法人地域医療機能推進機構です。救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療や、5疾病と呼ばれる、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患、さらには、リハビリテーションなどを中心に、地域医療で必要とされる医療及び介護を提供する機能の確保を図ることを目的とし、全国で展開しています。

《全国に広がる病院群》2016.10.4 現在

- 病院 57
- 健康管理センター 57
- 介護老人保健施設 26
- 看護専門学校 7
- 健康増進ホーム 1
- 研修センター 1
- 訪問看護ステーション 24
- 地域包括支援センター
在宅介護支援センター 13
- 居宅介護支援センター 29



院長ごあいさつ



久留米総合病院 院長
久留米総合病院附属介護老人保健施設 施設長
田中 真紀 Maki Tanaka

日頃から地域の皆様方には私どもの施設をご利用いただき心から感謝申し上げます。地域の方々に信頼される久留米市内唯一の公的病院として医療活動を展開し70年が経過しました。平成26年4月に独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO・ジェイコー）へと移行し、これに伴い病院名称も「久留米第一病院」から「久留米総合病院」と変更いたしました。平成27年11月には東側の道路に面して耐震構造の診療棟が完成し、CT、MRI等の大型医療機器の更新、手術室は3D鏡視下手術システムを導入するなどの一部改修を行い、平成28年7月からは主に乳がん患者さんに対する放射線治療も開始しています。また、救急告知病

院として24時間救急患者さんを受け入れております。病院にお越しいただいた方々に優しく安全で質の高い医療を提供できるよう職員一同で資質の向上に努めているところです。病院、健康管理センター、介護老人保健施設を有し、健康に対する予防から治療、福祉に至る三位一体の医療提供を行うとともに、地域の医療施設と連携して超高齢化社会を迎える地域医療・地域包括ケアを担う病院として今後も地域の皆様の様々なニーズに応えていきたいと思っています。

病院の特長

久留米市、大川市、小郡市、うきは市、三井郡大刀洗町、三潁郡大木町を含む二次医療圏「久留米保健医療圏」のほぼ中心に位置しています。全国でも例を見ない医療過密地区において、当院の特色である「女性医療」、特に乳がん治療では全国でも有数の実績を有しています。



病院の沿革



当院は、昭和21年2月に『福岡県健康保険第一病院』の名称で開設されました。戦後の困難な状況の中、国民のための医療提供体制の立て直し施策の一環として保険診療を普及させることを目的とし、以来、公的病院として地域社会に貢献してまいりました。昭和33年に全国健康保険病院経営が一元化され、社会保険庁は（社）全国社会保険協会連合会に経営を委託。昭和35年には国有民営形態の病院として総合病院となりました。昭和40年8月に名称を『社会保険久留米第一病院』と改称、同年10月に鉄筋5階建ての本館が完成いたしました。平成3年4月に健康管理センターが新設、平

成8年3月に老人保健施設『プレジールくるめ』が新設されました。現在の当院は、医療（病院）、保健（健康管理センター）、福祉（介護老人保健施設）が三位一体となった複合医療施設であり、開設されて以来、常に地域に密着した、地域の住民の方々に信頼される久留米市内唯一の公的病院として医療活動を展開し70年目を迎えました。平成26年4月には独立行政法人地域医療機能推進機構が運営する病院に移行し、病院名も『独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）久留米総合病院』に名称変更いたしました。

久留米総合病院の理念と基本方針



理念 地域住民の多様なニーズに応え安全・安心で心の通う医療を提供する

基本方針

- 1. 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援サービスに努める
- 2. 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
 - ①地域医療機関との連携を強化する
 - ②地域に特色のある医療を担う
- 3. 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める

久留米総合病院が提供する 医療・保健・介護福祉の三位一体

医療（病院）、保健（健康管理センター）、介護福祉（介護老人保健施設）が三位一体となった複合医療施設です。健康診断から病気の治療、そして介護まで切れ目のない包括的な医療サービスを提供いたします。

医療
久留米総合病院



介護福祉
久留米総合病院附属
介護老人保健施設



保健
健康管理センター



患者さん



病院概要

- ◎開設日/平成26年4月1日
- ◎許可病床数/一般病床175床（地域包括ケア病床8床含む）
- ◎診療科/内科、腎臓内科（人工透析）、呼吸器内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、循環器内科、麻酔科/ペインクリニック内科、外科、乳腺外科、消化器外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、精神科
- ◎救急医療/救急告示病院（二次救急医療施設）
- ◎関連施設/健康管理センター
久留米総合病院附属介護老人保健施設
久留米総合病院附属居宅介護支援センター
久留米総合病院附属短期入所生活介護センター

患者さんの権利

すべての利用者（患者さん）は個人としての人格を尊重され、最善の医療を受ける権利があります。久留米総合病院（以下当院）を利用される方には、次のことについて権利があると考えます。

1. 人間としての尊厳を損なうことなく適切な治療を受けること
2. 治療に関する医療スタッフの名前、資格を知ること
3. 病名、治療の経過、予後について理解できる説明を受けること
4. 治療の方針について、それに同意または拒否をするための情報を得ること
5. 治療方針の選択に積極的に関わることや医師の助言に反して退院すること
6. 検査、治療の際のプライバシーに配慮されること
7. 承諾なく治療上の記録が漏らされないこと
8. 利用者として守るべき病院内の規則を知ること
9. 臨床試験または治験を伴う治療計画には参加をする権利とともに拒否をする権利を持つこと
10. 以上の権利は利用者の法的代理人にも適用されること



施設認定

各種指定

- 保険医療機関
- 救急告示病院
- 労災保険指定医療機関
- 生活保護法に基づく指定医療機関
- 結核指定医療機関
- 福岡県肝疾患専門医療機関
- 難病の患者に対する医療等に関する法律に伴う指定医療機関
- 障害者自立支援法による指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）

- 胃がん検診精密検査実施登録医療機関
- 肺がん検診精密検査実施登録医療機関
- 肺がん検診再精密検査実施登録医療機関
- 肝臓がん検診精密検査実施登録医療機関
- 肝臓がん検診再精密検査実施登録医療機関
- 大腸がん検診精密検査実施登録医療機関
- 骨粗しょう症検診精密検査実施登録医療機関
- 前立腺がん検診精密検査実施登録医療機関
- 乳がん検診（視触診・マンモグラフィ併用）実施登録医療機関
- 乳がん検診精密検査実施登録医療機関
- 子宮がん検診精密検査実施登録医療機関

各医学会認定

- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
- 日本アレルギー学会認定教育施設
- 日本感染症学会連携研修施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本透析医学会認定施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
エキスパンダー実施施設・インプラント実施施設
- 日本食道学会全国登録認定施設
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設 関連教育施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設

院内フロア案内

病院(新診療棟)

院内フロア案内図

6F			
5F	病室501~523 地域包括ケア病床	連絡通路	健康管理センター 管理部門 医療安全管理室
4F	病室401~421 女性病棟	連絡通路	管理部門
3F	病室301~320 HCU	連絡通路	手術センター
2F	化学療法センター・腎センター・内視鏡センター 講堂・カンファランスルーム・栄養相談室 外来診療(外科系)・CAPD診察室・CAPD処置室	連絡通路	健康管理センター・臨床検査センター 超音波検査室・運動負荷検査室 肺機能検査室・心電図室
1F	総合受付・地域連携室・医事課・お薬窓口 売店・救急外来・CT/MRI・中央採血室・ 中央処置室・相談室・外来診療(内科系)	連絡通路	健康管理センター・放射線画像診断センター X線一般撮影室・乳房撮影室 透視室・骨密度測定室
B1F	核医学・放射線治療センター 核医学検査室・治療CT室・リニアック室 薬剤科・栄養管理室・剖検室・霊安室	連絡通路	施設課
			介護老人保健施設 屋上庭園 療養室401~419 療養室301~320 リハビリテーションセンター 通所リハビリテーション 大浴場・理美容室 居宅介護支援センター 事務室・託児所



久留米総合病院と健診センター、久留米総合附属介護老人保健施設が密に連携できるような配置になっています。病院の診療棟は2016年に新しくなり、快適なサービス提供を目指したつくりになっています。

施設設備紹介

施設配置図



玄関待合室 (1F)



外来待合フロア (1F)



新館売店 (1F)



講堂 (2F)



放射線科受付 (1F)



リハビリテーションセンター (2F)



外来案内



当院では、専門科目ごとの診療も受付けていますが、総合病院としての特性を活かして、患者さんの多様な相談に応じ、複数の疾患を持つ患者さんへの総合的なケアを得意とする総合診療科も設置しています。お気軽にご相談ください。

初めて受診される方へ

受診の流れ

- ①初診の受付時間は、7:30からです。
- ②総合受付3番にお越しください。「新患申込書」にご記入いただき、「保険証」等と一緒にお渡しください。
※「ご紹介状」等をお持ちの場合は、一緒にお渡しください。
- ③受付より、受診される診療科へご案内いたします。
その際に「受付票」と「患者基本票」をお渡しします。
- ④診察が終わりましたら総合受付4番へ「受付票」と「患者基本票」をお渡しください。
- ⑤総合受付4番にて会計のご案内をいたします。自動精算機でご清算ください。

再診の方へ

再診の流れ

- ①再診の受付時間は、7:30からです。
- ②自動再来受付機に診察券を挿入し受付をお願いします。
ご予約の方も必ず受付されてください。
※診察券をお忘れの方、お持ちでない方、一年以上当院で受診されていない方は受付職員へお声をお掛けください。
- ③自動再来受付機より「受付票」が出ますのでお取りください。
総合受付より「患者基本票」をお渡し、係りの者がご案内します。
- ④診察が終わりましたら総合受付4番へ「受付票」と「患者基本票」をお渡しください。
- ⑤総合受付4番にて会計のご案内をいたします。自動精算機でご清算ください。

診療時間のご案内

呼吸器内科	
腎臓内科	
内科	午前8:30~11:30(受付時間) 午後1:00~3:00(受付時間)
内分泌代謝内科	
消化器内科	
循環器内科	
外科	午前8:30~11:00(受付時間)
一般・消化器外科	
乳腺外科	
形成外科	毎月第4水曜日 午後12:30~ ※診察日は変更になる場合がございます。
整形外科	午前8:30~11:00(受付時間)
産婦人科	午前8:30~11:00(受付時間) 金曜日は休診 ※現在、分娩の取り扱いを休止しております。
泌尿器科	午前8:30~11:00(受付時間) ※水曜日:初めの方も再来の方もすべて 受付は10:30までとなります。(予約は除く)
麻酔科/ペインクリニック内科	午前8:30~11:30(受付時間)
眼科	火曜日、金曜日のみ 午後1:00~3:00(受付時間)
皮膚科	火曜日のみ 午後1:00~3:00(受付時間)
総合診療科	午前8:30~11:30(受付時間) 午後1:00~3:00(受付時間) ※午後は初めての方のみ受診となります。
女性総合診療科	午前8:30~午後3:00(受付時間) 午後1:30~4:00(診療時間) ※毎週水曜午後のみ(各診療科、初めての方も 再来の方も事前のご予約が必要となります。)
精神科(リエゾン)	毎週水曜日(午後) ※当院を受診中の患者さまを対象とした 診療を予約制で行っています



自動再来受付機

自動精算機



カーテンの仕切りでプライベート空間が保たれる4床室。他に個室もございます。

入院について

ご入院の手続き

ご入院の当日は午前9時までにお越しください。以下の入院の手續きに必要なものをご持参のうえ、総合受付入院窓口において手續きを行ってください。

手續きに必要なもの

- ◎入院申込書・身元引受書兼診療費等支払保証書
- ◎健康保険証
- ◎診察券
- ◎印鑑
- ◎入院時間診票
- ◎その他必要書類

入院生活に必要なもの

- ◎洗面用具
- ◎タオル、バスタオル
- ◎食食用具(湯飲み/お箸/スプーン等は病院で用意しておりますが、ご自身で持ちこまれても構いません)
- ◎洗髪、整髪用具
- ◎ティッシュペーパー
- ◎テレビ用イヤホン(個室以外・売店にも販売しています)
- ◎くすかご
- ◎履物(滑りにくいもの・音がしないもの)
- ◎寝衣・下着類(※寝衣については、病院指定のものも準備しております。ご利用には申し込みが必要です。寝衣の種類により利用料金が異なります。ご利用の際は看護師にお知らせ下さい。)
- ◎印鑑
- ◎ボールペン
- ◎現在飲まれているお薬・目薬等は、看護師からの入院に際しての説明に基づき、お薬手帳・薬の説明書とともにすべてをお持ちください。(入院中に他の医療機関の受診はできませんので、ご注意ください。)
- ※インスリン等も忘れずにお持ちいただき、看護師へお渡しください。

持参の品物にはお名前をご記入ください

※診療科によっては、上記以外にもご入院に必要なものがある場合がございます。詳しくは、『入院のしおり』をご参照ください。

ご面会の方へ

面会時間については、13:00～21:00です。患者さんの体調にあわせてご面会ください。検査・処置等でご遠慮いただくこともございます。面会時は看護師へお声かけください。多床室をご利用の患者さんは、他の患者さんへのご配慮をお願いいたします。(デイコーナー等をご利用ください。)



病室のフロアにあるナースセンター。入院中のケアをいたします。

地域医療連携について

地域の皆さまのニーズに応える良質な医療サービスの提供を目指しています。

地域連携室



地域連携室では、患者さんに良質で安心できる医療を適切に提供するために、地域の医療機関の先生方、保健・福祉担当者の方等と連携を図る窓口業務を行っております。また、病气やケガにより生じた様々な不安や問題への相談に応じ、問題解決への糸口を見つけるためのお手伝いをしています。ご利用の際は、お気軽に病院スタッフにお声がけください。

業務内容

- ◎地域医療機関、その他関係機関との連携調整
- ◎介護保険や福祉制度に関する説明・相談
- ◎医療費等についての相談
- ◎退院後の相談(在宅医療・転院、施設入所等)
- ◎紹介元医療機関への報告書の管理
- ◎紹介患者情報の管理

連携医登録制度



地域の各医療機関が相互に連携して、患者さんに一貫性のあるより良い医療を提供することを目的として、当制度を設けています。当院と各医療機関との連携により、スムーズな診療体制を実現します。※詳しくは地域連携室へお尋ねください。

患者相談



患者さんやご家族の方へより良い医療や看護、介護、福祉環境をご提供できるよう患者相談窓口を設置し相談を受付けています。また、病院・医療スタッフのご不満・ご意見・ご提案などをお聞きし、積極的な改善を図っています。

チーム医療



当院では各分野においてチーム医療を展開しています。医師、看護師、技師、栄養士、ソーシャルワーカー等さまざまな職種が連携し、患者さんへ安全でやさしい医療を提供しています。

セカンドオピニオン



セカンドオピニオンとは現在のご自分の病状、治療方針等について、他の医師の意見を求めることです。患者さんの疾患の専門性を考慮して、ご相談に応じる医師を決定し、対応させていただきます。

医療安全管理室



医療安全管理室では、ヒヤリハットをはじめ医療安全に関わる様々な事例を集めて分析、問題点を把握して組織としての改善策を立案、各部門にフィードバックしています。医療安全に努めることで、安全で安心の医療、ひいては医療の質の向上に取り組んでいます。

臨床試験・治療

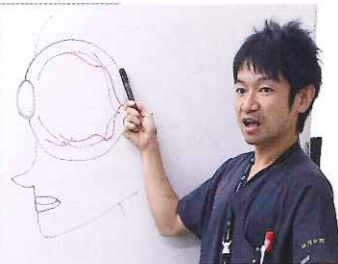


より最新の治療を患者さんにご提供するとともに、より安全な診断法や治療法の確立を目指して治験や研究者主導の臨床試験等を積極的に実施しています。臨床試験支援室において、これら臨床研究の管理、支援を行っています。

患者さんのサービスについて

病気の予防や、退院後のケアまで様々な患者サービスを実施しています。

糖尿病教室



糖尿病チームには、さまざまな職種のスペシャリストが揃っています。チームには、糖尿病内科医・看護師・管理栄養士・保健師・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士があり、糖尿病療養指導士（糖尿病の総合的な指導ができるエキスパート）の有資格者も揃っています。それらのスタッフが全員で糖尿病教室を担当しています。あなたのライフスタイルに沿ったオーダーメイドの治療を提供するためにスタッフチームが連携しながら、あなたのご相談に応じます。

腎臓病教室

腎臓病は自覚症状が少ないため、知らず知らずのうちに病状が進行してしまう病気です。早い時期に発見して、食事や日常生活に注意することで腎臓病の進行を遅らせることができます。当院では、腎臓病について理解を深めていただくために、腎臓病教室を1年に3シリーズ開催しています。

糖尿病腎症教室

近年、糖尿病腎症の進行による透析導入が急増しています。糖尿病腎症は、血糖コントロールと腎臓のことも考えに入れた食事療法を実践することが大切です。糖尿病腎症教室では、病気や食事のことを理解して、糖尿病による腎症を予防、管理していただけるよう指導しています。

乳がんところとからだおしゃれ教室



乳がんところとからだおしゃれ教室では乳がん患者さんに、治療を受けながらところとからだをリフレッシュし、治療中も女性らしくイキイキとキレイであることをあきらめない生活を送っていただくためにメイク、ウィッグ、補整下着などの内容で実践を交えた講義を開催しています。

骨盤底筋体操教室

骨盤底筋体操は、尿失禁や過活動膀胱に有効です。骨盤底筋体操には即効性はありませんが、毎日コツコツ続けることで、確実に症状が改善されます。実際に参加された方の中には尿失禁の症状が軽くなった方もおられます。骨盤底筋体操教室では、骨盤底筋を鍛える筋力トレーニングを実践を交えて行っています。

診療科目案内

総合的な医療サポートと、専門的な治療で皆さまのニーズに応えます。

総合診療科

どのような疾患でも、積極的な医療提案を。



総合診療科は、専門を持ったうえで専門の目だけの診療ではなく、患者さんの全身を横断的に診察・診断・治療を行い、必要があれば専門家との連携、橋渡しを行う、その最重要専門分野として位置付けられています。自分の症状はどこに受診したらよい？どこが悪くてどこを治せば良い？など、病気に対して分からないことが多々あるかと思えます。治療に難渋する疾患に対しても、積極的に対応していく診療科です。当科はその基本理念のもと、内科医師（総合診療科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・腎臓内科）を中心に、専門家の境なく診療を行っております。

初診外来で的確に診断、治療、専門科への橋渡しをするだけでなく、専門以外でもある程度は自ら解決するという姿勢を持ちながら、日々診療を行っております。

お困りの際はご遠慮なくご用命ください。

呼吸器内科では、①開設以来培われてきた開業医の先生方をはじめとする近隣医療機関とのネットワークを重視した地域密着型の診療②久留米大学呼吸器・神経・膠原病内科の主要関連施設として養われてきた専門性の高い診療③院内の健診部門や他診療科などとの連携による呼吸器疾患の早期スクリーニングを特徴としています。

- ・肺炎などの各種呼吸器感染症の治療
- ・喘息などアレルギー性肺疾患の診療
- ・長引く咳などの呼吸器症状でお困りの方への適切な診断と治療
- ・肺がん、SAS（睡眠時無呼吸症候群）、タバコ病であるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）などの早期発見と検査・治療
- ・間質性肺炎をはじめとする特殊な肺疾患の適切な病状評価、診断・治療などがあげられ、専門医療機関としての良質な医療を提供できるよう心がけています。

呼吸器内科

地域医療機関と連携した専門性の高い診療を。



消化器外科

地域医療機関と連携した専門性の高い診療を。



消化器外科では食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、胆のうなどの消化器の病気や脱腸（ヘルニア）などの体表の病気、肺がんや気胸などの呼吸器の病気に対して、各疾患の治療ガイドライン（専門医師の協議によって作成された日本の治療方針）に沿って治療を行っています。手術においては、十分に病気部分を切除しつつ、身体に負担の少ない手術を心がけています。特に鏡視下手術（1cm程度の小さな傷からお腹の中や胸の中にカメラをいれて大画面のモニターに映しながら細長いハサミなどを使って行う手術）を積極的に行っています。従来の大きく切開する手術に比べ、痛みや体への負担が少ないため、早期退院・早期の社会復帰が可能です。腹腔鏡下の胆のう摘出術ではさらに傷の数を減らし、1つの傷のみで手術を行っています。がん治療においても胃がん、大腸がん、肺がん、に対して鏡視下手術を取り入れています。早期胃がんや大腸がんでは第一選択としており、良好な成績を得ています。また、がん治療においては手術だけではなく、消化器内科、放射線科、薬剤部、緩和ケア、看護部と毎週、合同カンファランスを行い、個人個人の病状にあった治療法（手術、化学療法、放射線療法、その他）を選択しています。

女性総合診療科『なでしこ』

女性が安心して受診していただけることを第一に考えて、女性医師を中心に、検査や診察などを女性スタッフが対応。



乳がんの早期発見に役立つマンモグラフィー。女性医師、女性技師がしっかりとサポートし、検査、治療をいたします。



私たちは、女性に安心して病院を受診していただきたいと考えています。女性に優しい病院であることを目指して、女性総合診療科を開設しています。女性特有の病気の内容や症状など男性医師には話しにくいと思ったことはありませんか？女性総合診療科「なでしこ」では、女性医師を中心に検査や診察など女性スタッフが対応いたします。利用される方は10代から70代まで幅広く、更年期だからと簡単に片づけたりせず、ゆっくりと時間をかけて診察いたします。

- 【診療日】 毎週水曜日
- 【受付時間】 午前8:30～午後3:00
※自動再来受付機は午前7:30からご利用いただけます。
- 【診療時間】 午後1:30～4:00
- 【診療内容】 婦人科疾患／乳腺疾患／甲状腺疾患／尿失禁／骨粗しょう症／更年期障害／その他内科・外科的疾患など
- 【その他】 リンパドレナージュ・アロマセラピー
毎週水曜日 13:00～（予約制）
- 【料金】
リンパドレナージュ 30分 3,000円
アロマセラピー 30分 3,000円
ご予約・お問い合わせ：女性総合診療科
※全ての診療科が受診の際はご予約が必要となります。詳しくはお問い合わせください。

乳腺外科

常に最良の治療を探求し、先進医療を提供。

しっかりとした検査、診断を行い、必要に応じて手術をいたします。乳房切除後の再建手術なども行います。専門医・認定医を中心としたチームで安心していただける治療を目指しています。

乳腺外科では、検診で要精密検査になった方や乳房に気になる症状がある方に診察・画像検査を行い、さらなる検査が必要な方に対しては造影MRI、画像ガイド下吸引式針生検、コア針生検で診断をすすめています。乳がんの手術症例数は年々増加しており、2015年（1月～12月）1年間の症例数は393件でした。臨床的腋窩リンパ節転移陰性例に対するセンチネルリンパ節生検においてはより高い同定率をめざし色素法、RI（ラジオアイソトープ法）の併用法

での同定を行い、術中検査はより高い正率を目指して2010年よりOSNA法（One step Nucleic acid amplification 法）を導入しました。また、乳房切除後、乳房再建については形成外科のYanaga CLinicと連携し行っています。診断・治療などの過程においても患者さんが安心できるよう、専門医・認定医をはじめ認定看護師や薬剤師・理学療法士等、多くの職種がチームで治療を行っています。



産婦人科

これまでの実績を活かして、女性特有の疾患のケアを。

産婦人科では、外来診察において出血や痛みなどで受診された方の原因を調べるなど、子宮がん検診で検診異常となった方の精密検査などを行っています。手術で取り扱っている疾患は主に子宮筋腫、卵巣嚢腫などの良性腫瘍や子宮・膀胱などが下がってくる骨盤臓器脱などです。当科のモットーとして『Soft and Gentle Care for Women's Care』をあげ身体に優しく納得のいく治療を行っていくことを心がけています。「開腹手術から腹腔鏡手術へ」をモットーに掲げ腹腔鏡手術、特に傷のほとんどが目立たない単孔式腹腔鏡手術やマイクロ波子宮内膜アブレーションを積極的に行っています。特に腹腔鏡手術は年間300件で筑後地方第一の件数を誇り、日本内視鏡外科学会技術認定医が担当します。

「開腹手術から腹腔鏡手術へ」をモットーに、傷のほとんど目立たない術式を積極的に取り入れています。腹腔鏡手術は年間300件あまりを施術します。





看護課、薬剤科、リハビリテーションセンター、化学療法センター、放射線診療部などのコメディカル部門が各専門診療科と連携を図り、患者さんのケアをいたします。

コメディカル部門について

看護課

患者さんが必要とする看護を心を込めて。

日々の申し送りや連携が看護チームの強みです。患者さんの状態の変化を見逃さないよう日々努めています。



看護課では「心の通う利用者中心の看護」の理念のもと、看護の基本を大切にしながら確かな知識・技術・判断力で、利用者の方が必要とする看護を心を込めて提供しています。そのために、良質な看護が提供できるよう人材の育成に力を入れています。院内・院外の研修会をはじめ、認定看護師教育課程などの長期研修に参加できる支援体制があり、積極的に進めています。利用者の皆様から信頼される看護師でいられるよう、看護職員一人ひとりがやりがいをもって働き続けられる職場づくりに努めています。

看護課理念

「心の通う利用者中心の看護」

基本方針

1. 利用者・ご家族の人権を尊重し、コミュニケーションを大切にします。
2. 地域の皆さんに信頼される安全な看護の実践に努めます。
3. 笑顔とまごころで、心の通う利用者中心の看護を目指します。

人材育成について

当院には、6分野の認定看護師が在籍して、専門性の高い看護ケアを提供しています。

- ・がん化学療法看護
- ・乳がん看護
- ・がん性疼痛看護
- ・緩和ケア
- ・皮膚・排泄ケア
- ・認知症看護



薬剤科

薬の専門家として皆さまを支える「頼れる存在」に。

医師、看護師と連携し、患者さんの治療に役立つ高度な知識と薬品管理を実施します。



より身近な存在でありたい

患者さんや病院スタッフの身近な「お薬相談役」として、お薬の説明や回診への同行など積極的に行っています。病棟にはそれぞれ専任薬剤師を配置しています。

高度な薬品管理

「必要な薬品がより良い状態で常にそこにある」これを合理的に実現するために在庫管理は医薬品卸業者との共同管理（SPD）体制を構築しています。

高度な知識

日々精進する医療に対応すべく、常に最新の薬剤情報を収集し、提供しています。また、領域ごとに認定された専門の薬剤師が、その高度な知識と技術を患者さんや病院スタッフに提供しています。

高度な技術

多くの採用品目を正確に調剤するためには、コンピュータ管理された調剤機器。衛生かつ高精度な抗がん剤や中心静脈栄養剤の調剤には、安全キャビネットやクリーンベンチ。私たちはこれらを余すところなく「駆使する技術」を持っています。

リハビリテーションセンターでは、病気やケガ、手術後、あるいは高齢により体力や運動機能が低下した方々それぞれの症状に応じて、運動器疾患、呼吸器疾患、脳血管疾患、心大血管疾患などのリハビリテーションを提供しております。

また、「がんリハビリテーション」では患者さんが抱える疼痛や疲労、日常生活動作能力や筋力低下などの一般的な問題だけでなく、運動麻痺やリンパ浮腫、呼吸障害、摂食・嚥下障害、末梢神経炎、軟部組織や骨切除後など、がんの種類による特別な問題に対して二次的障害を予防し、運動機能・生活機能の低下予防・改善を目的にリハビリ診療を行っています。

理学療法士・作業療法士が一丸となり、患者さんが親しみやすい環境でリハビリが出来るよう努めています。



リハビリテーションセンター

理学療法士を中心に専門的なリハビリを。

患者さんの状態に合わせた無理のないプランで、リハビリテーションを行います。



化学療法センター

ライフスタイルの合わせた治療の提案を。

化学療法センターでは、安全で快適な医療を提供することを目的に医師・がん化学療法看護認定看護師・がん専門薬剤師および専任看護師がチームとなり、年間約3,000件の治療を安全に行っています。当センターをご利用の患者さんの9割が乳癌疾患の女性です。年齢層は幅広くお仕事をお持ちの方、ご年配の方、お子様をお持ちの方とそれぞれに「社会、家庭での役割、環境」がありますが、予約制で治療を行いますので、患者さんのライフスタイルに配慮した治療スケジュールが可能です。私たちは、「これから自分はどうなるの?」「副作用は?」といった皆様からのご質問に丁寧に答えしています。患者さんがこれからの自分を理解し受け入れることができるよう、ゆっくり時間をかけてお話をさせていただいています。これからも患者さんの心に寄り添い、支えになれる存在でありたいと思います。



日の光が明るい2階フロアにある化学療法センターでは、お一人お一人のご要望をお伺いし、これからの治療スケジュールを丁寧に説明いたします。

放射線科診療部

放射線での検診をよりスムーズに。

放射線科診療部では、放射線科医師、診療放射線技師及び受付スタッフで病院業務と併設する健康管理センターでの健診業務を行っています。3T-MRI装置や64列CT装置、デジタルマンモグラフィ装置や放射線治療装置などに代表される最新の医療機器を導入して、より良い医療の提供を心がけています。また、安全で安心して画像検査や治療をお受け頂けるように、積極的に各種研究会等に参加して認定技師や専門資格を取得し、技術の向上と知識の習得及び機器の品質管理に努めています。



3T-MRI装置や64列CT装置、デジタルマンモグラフィ装置や放射線治療装置などに代表される最新の医療機器を導入しています。

放射線治療(リニアック)

身体に負担をかけないがん治療を。

がんの治療、予防、痛みを取るためにリニアックを使った治療を行います。



放射線治療(リニアック)は、手術・抗がん剤治療と並び、がんの治療の3本柱の一つです。放射線治療は、リニアックと呼ばれる装置で体の外側から放射線を照射して、がん等の病気の治療、がんの予防、痛みの緩和を取ります

X線撮影に使用する放射線の数十倍のエネルギーの放射線を使用し、症例に合わせて3種類のX線と、5種類の電子線を使い分けて照射を行っています。

放射線は、目に見えず、身体にあたってても何も感じません。寝ていただく間に治療は終わりますので、身体への負担が少なく、身体にやさしい治療です。

当院では、主に乳房温存手術を行った患者さんの予防照射を行っています。

臨床検査科診療部

質の高い医療のための検査データを。

臨床検査科では、特殊検査以外の検査を院内で実施しており、すべての臨床検査が患者さんの生命に直結していることを常に忘れず、迅速かつ質の高い検査データを提供しています。また、患者さんには常に心のこもった暖かい対応を心がけ、安心して検査を受けて頂けるように知識、技術の向上に努めています。

検査以外では他の部門と協力し、糖尿病教室、腎教室、NST、乳腺カンファランス等の運営に参加し、チーム医療に取り組んでいます。



他部門との連携を図り、特殊検査以外の検査を院内で実施しています。



日々、地域の皆さまが検診に訪れる健康管理センター。身体の異常を早期発見し治療へつなげるだけでなく、健康増進や維持管理の大切さを皆さまへ伝えています。

健康管理センターのご案内

地域の皆さまの健康管理を担い、病気の早期発見に力を注ぐ。

当センターは、平成3年の開設当初より『地域社会との融和』を基本理念とし活動してまいりました。事業所や地域住民の皆様の健康づくりのお役に立てるような取り組みを行っています。

胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・乳がん・子宮頸がんなどの各種がん検診や高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病の早期発見を第一に考え、異常が見つかった場合には、久留米総合病院の専門医へ速やかに紹介し、精密検査・診断・治療へとつなげます。

事業所検診

協会けんぽ・健康保険組合・共済組合等の保険にご加入されている事業所に健康診断を実施しており、毎年、約2,000箇所の事業所の方々に受診していただいています。ご予約から結果報告までをスムーズな流れで行い、受診者の方々にご満足いただけるよう生活習慣病予防の包括的な健康づくりをサポートしていきます。

健康診断のポイント

POINT 1
年に1回は健康診断を受けましょう

普段は健康だと自覚していても病気とは隣り合わせです。早期発見・早期治療のためにも年に1回の健康診断が大切です。

POINT 2
オプション検査を受けましょう

豊富なメニューのオプション検査をご用意しています。ご自身の年齢や身体の変化に合わせた受診をおすすめします。

POINT 3
自分の状況を把握しましょう

毎年健康診断を受けることによって、体調の変化を数字で判断することができます。リスク管理こそ健康への第一歩です。



女性検診では、がんの早期発見、早期治療を目指しています。スタッフも女性なので安心してお越しください。

J.M.S. ジャパンマンモグラフィセンター

子育て、介護、仕事などで多忙な平日をお過ごし
の女性の皆様へ

日曜日に
乳がん検診・子宮頸がん検診が受診できます！
乳膏 50名増まで

乳がん検診

- ▶ ①久留米市民健診の乳がん検診受診対象の方
●視触診・マンモグラフィ検査 (1方向)：受診以上の検診の場合・・・1,100円
●視触診・マンモグラフィ検査 (2方向)：受診以上の検診の場合・・・1,400円
- ▶ ②福岡県内広域圏検診クーポンをお持ちの方・・・無料
- ▶ ③実費で受診される方 (①-②の対象以外の方)・・・4,750円
- 視触診・マンモグラフィ検査・・・
- マンモグラフィ検査・乳房エコー検査・・・8,640円

子宮頸がん検診

- ▶ ①久留米市民健診の子宮頸がん検診受診対象の方：20歳以上の女性・・・900円
- ▶ ②福岡県内広域圏検診クーポンをお持ちの方・・・無料
- ▶ ③実費で受診される方 (①-②の対象以外の方)・・・3,350円

【ご予約ください】
この日に行う検診は、乳がん検診と子宮頸がん検診のみです。その他の検診や治療の診察は行って
おりません。

【受診をご希望の方へ】
ご予約は、ご予約が必須となります。(乳膏 50名増まで)
TEL: 0942-32-0781 受付時間 (月～金) 11:00～17:00 (土曜日のみ) 10:00～17:00
FAX: 0942-32-1218 ※検診当日は必ず受付時間内に検診券をダウンロードして受診券を控えに
のうえ持参をお願いします。

http://kurume.jcho.go.jp/ **J.M.S.**

独立行政法人九州厚生労働局 久留米総合病院 健康管理センター 0942-32-0781

女性検診

POINT 1

乳がん、子宮頸がんの発症数は年々増え続けています。当センターでは、経験豊かなスタッフが女性の皆さんの健診をサポートいたします。



POINT 2

毎週木曜日の午後には実施している『乳がん検診Ladies Day』では、検査や診察の全てを女性技師・女性医師が担当いたします。

◎Aコース／【検査内容】視診・触診、マンモグラフィ検査、乳房自己検診指導

◎Bコース／【検査内容】視診、マンモグラフィ検査、乳房エコー検査、乳房自己検診指導

POINT 3

当センターでは、毎年1回、10月の第3日曜日に『ジャパン・マンモグラフィ・サンデー』を実施しています。乳がん検診に加え、子宮頸がん検診も実施しており、普段お仕事や家事、子育て等で忙しい女性の皆さんに受診いただいています。

久留米市民健診

毎年、延べ9,400人の方に受診頂いています。当センターでは、住民健診の実施期間中に受診していただけます。



特定保健指導・健康相談

当センターには、専任の保健師が在籍しています。健康診断の結果に基づき食事や運動などの面から皆さんの生活習慣の改善をお手伝いします。



巡回健診車

巡回健診車による事業所健診では、久留米市・筑後地区を中心に福岡県内を広く巡回しています。定期健診の他に有機溶剤やじん肺検診なども行っています。



各種健康診断に対応しています。ゆったりとした待合スペースもご用意。

健康診断のご案内

各種健康診断、人間ドックにも対応。

全国健康保険協会(協会けんぽ)による生活習慣病予防健診

被保険者(本人)が年に1回ご利用できる健康診断です。

- ◎一般健診・付加健診 ※胃部レントゲン検査は胃透視検査を胃内視鏡検査(胃カメラ)への変更が可能です。
- ◎乳がん検診・子宮頸がん検診・肝炎ウイルス検査

定期健康診断

労働安全衛生法に基づく健康診断です。

- ◎就職、採用時の健康診断
- ◎特殊健康診断(有機溶剤・じん肺・特定化学物質・鉛等の業務に従事する方が対象です。)

人間ドック

ご希望の方を対象に検査項目の多い健康診断です。

- ◎半日人間ドック・1泊2日人間ドック

久留米市健康診査・がん検診

久留米市にお住まいの方を対象とした健康診断です。がん検診は、例年6月1日～11月30日の期間で実施しています。11月は受診される方が多く待ち時間が長くなりますので10月までの早めの受診をお勧めします。

事業所及び健保組合による健康診断

事業所や健保組合との契約内容に基づいた健康診断です。

精密人間ドック

日々、お忙しい方や詳しく検査をしたい方などへ胃カメラ検査/低線量胸部CT検査や腫瘍マーカー(血液中に含まれるがん細胞がつくる特徴的な物質を調べる検査)を含む人間ドックをお勧めします。(検査は午前中で終了します)

特定健診

被扶養者(家族)が受診券を使用して受診できます。※健保組合や共済組合の扶養者もご利用できます。

巡回健診・集合健診

健診車による健康診断です。

- ◎生活習慣病予防健診(一般健診)・定期健康診断
- ◎特殊健康診断(有機溶剤・じん肺・特定化学物質・鉛等の業務に従事する方が対象です。)





本館から、健康管理センターにも直結し、診断、検査、治療など総合的にサポートいたします。

オプション検査

ご希望により、お受け頂けます。

- ◎乳がん検診(視診・触診+マンモグラフィ)
- ◎婦人科HPV検査
- ◎子宮頸がん検診(細胞診)
- ◎脳MRI/MRA検査
- ◎低線量胸部CT検査
- ◎腹部超音波検査
- ◎骨塩量測定検査(骨粗しょう症)
- ◎感染症検査
- ◎腫瘍関連検査
 - ・AFP腫瘍マーカー(肝臓がん検査)
 - ・CEA腫瘍マーカー(消化器がん検査)
 - ・前立腺がん検査(PSA)
- ◎糖尿病検査
- ◎HbA1c・眼底カメラ検査
- ◎ウイルス抗体検査
 - ・麻疹(はしか)検査(麻疹ウイルス)
 - ・風疹検査(風疹ウイルス)
 - ・おたふく風邪検査(ムンプスウイルス)
 - ・みずぼうそう検査(水痘・帯状ヘルペスウイルス)
 - ・便細菌検査(サルモネラ・赤痢・腸炎ビブリオ・O-157・パラチフス・腸チフス)
- ◎ストレスチェック分析
- ◎その他検査
 - ※詳細については、お気軽に健康管理センターにお尋ねください。

精密検査のご案内

当健康管理センターで事業所の健診を受診される方のうち、精密検査が必要な方はご予約制により、引き続き病院の外来診療で検査をお受けいただけます。まずは、健康管理センターにお電話ください。

内視鏡検査(胃カメラ検査)

人間ドックや生活習慣病健診の方は、希望にて胃部透視検査(胃バリウム検査)を胃カメラ検査に変更が可能です。(差額料金が発生します)
50歳以上の方は、ぜひ新しい内視鏡センターでの胃カメラ検査をお勧めします。



入所介護サービスだけでなく、通所介護サービスや地域の皆さまの介護に関するご相談もお受けしています。

介護老人保健施設のご案内

久留米総合病院附属 介護老人保健施設

総合病院・居宅介護支援センターと連携した、安心で優しい介護を。

当施設は平成8年5月に老人保健法に基づき医療機関と在宅の中間施設として「久留米社会保険老人保健施設プレジールくるめ」として誕生いたしました。
その後、平成12年の介護保険法の発足に伴い「久留米社会保険介護老人保健施設」へと改称いたしました。
平成26年4月には、独立行政法人地域医療機能推進機構へ移行に伴い「久留米総合病院附属介護老人保健施設」となりました。

病院との連携について

病院との密な連携で徹底した健康管理をまた、居宅介護支援事業所との連携で、お一人お一人にあった介護サービスの提供をいたします。



施設概要

- ◎定員 / 90名
- ◎居室 / 個室10室、多床室(2名)2室、多床室(4名)19室
- 《ご利用いただける方》
- ◎要介護認定 / 要介護1~5の方
- ◎病状が安定し、入院治療の必要がない方
- 《お申し込み》
- ◎ご希望の方は支援専門員にご相談ください。(見学も随時受付けています)
- ◎申込書のご記入と主治医への診療情報提供書作成のご依頼をお願いいたします。

サービス案内

入所介護サービス

入所して治療を終えた方、在宅での生活が困難になった方などが施設に入所し、在宅復帰を目指すためにリハビリテーションや医学的な健康管理を中心としたケアを行うサービスです。看取りにも対応いたします。

施設の日

6:00 起床	12:30 昼食
モーニングケア	入浴
8:00 朝食	作業活動
10:30 健康体操	15:00 おやつ
レクリエーション	18:00 夕食
入浴	21:00 就寝

お申込みからご利用までの流れ

介護認定で要介護1～5の方が対象の施設です。まずはご相談いただき、ご見学、訪問面談を行い、入所に問題がないか検討会議を行います。ご入所されるご本人様が施設に合うかどうか大切な判断基準としています。



個室、多床室があり、どの部屋も明るい作りです。緊急用のナースコールも完備していますが、スタッフがしっかりと見守りいたします。一度ご見学にお越しください。



岩風呂を思わせる浴室は、木目調の温かみもございます。お体の状態に合わせてリフトでの入浴もできるので安心です。

通所リハビリテーション(デイケア)サービス

施設においてリハビリテーションをはじめ、入浴、食事、レクリエーションなどが受けられる日帰りのサービスです。

【ご利用いただける方】

◎要介護認定：要支援1～2及び要介護1～5の方

【ご利用日時】

◎月曜日～土曜日（祝日含む）

◎10:00～16:00（短時間のご利用もお受けいたします。）

【お申し込み】

◎ご利用には介護支援専門員の作成した介護サービス計画書が必要となります。

◎ご希望の方は担当の介護支援専門員または当施設支援相談員にご相談ください。（見学にも対応いたします。）

◎申込書のご記入と主治医への診療情報提供書作成のご依頼をお願いしております。

【お問い合わせ】電話：0942-33-1324（直通）

居宅介護支援センター

介護の悩み、何でもご相談ください。

介護保険のサービスを利用したい、要介護認定を受けたい、一人暮らしだけど介護が必要になったらどうしよう…、退院後自宅で生活できるか不安…、自宅をバリアフリーにしたいなど、在宅での介護では様々な悩みや困難がたくさんあります。

介護でお悩み、お困りの方は是非ご相談ください。

【ごあんない】

◎営業/月～金（8:30～17:15）、介護支援専門員/2名

【お問い合わせ】電話：0942-31-3555（直通）

※営業時間外及び休業日もご連絡いただけます。

短期入所介護サービス

在宅で介護を受けておられる方が、ご家族の冠婚葬祭などの行事や介護疲れなどによって一時的に介護を受けることが困難になった場合に短期間施設に入所し、介護を受けることができるサービスです。日常生活上の介護を中心とした『短期入所生活介護』とリハビリを加えた『短期入所療養介護』の2種類のサービスを提供します。

【ご利用いただける方】

◎要介護認定：要支援1～2及び要介護1～5の方

【お申し込み】

◎ご利用には介護支援専門員の作成した介護サービス計画書が必要となります。

◎ご希望の方は担当の介護支援専門員または当施設支援相談員にご相談ください。（見学にも対応いたします。）

【お問い合わせ】電話：0942-33-1211（代表）

出前講座

これまで培ってきた介護の知識や技術を地域に向け、発信しています。高齢者に多い病気、介護の方法、レクリエーション、介護保険制度などをテーマに、地域のコミュニティセンターなどに出向き、講座を行います。ご希望の方はぜひ居宅介護支援センターにご相談ください。

